

『学校部活動』から『地域クラブ活動』へ



さいたま市 PR キャラクター

～地域とともにつくる 部活動の新しいカタチ～

R7.10月発行

vol.1

令和4年12月にスポーツ庁および文化庁から部活動改革ガイドラインが公表され、中学校の部活動改革に向けた取組が全国で始まっています。

【部活動改革の必要性】

- ・少子化により、学校部活動を現在と同じ体制で運営することが難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況である
- ・学校の働き方改革が進む中、教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、より一層厳しくなる



(参考) スポーツ庁

さいたま市では、国の動向も踏まえ、本市独自の部活動の新しいカタチについて、令和5年度からモデル校で実証検証するとともに、「さいたま市地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備研究協議会」を設置し、様々な検討・取組を行っています。

※さいたま市地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備研究協議会の主な委員：学校関係者、地域・保護者の代表、スポーツ団体等



さいたま市はなぜ部活動の新しいカタチについて検証をすすめているの？

- ・子どもたちが、地域の中で自分の興味に応じてスポーツや文化活動を楽しめる環境を整えるため
- ・生涯スポーツ・文化活動の視点から、多世代が気軽に活動できる持続可能な環境を整えるため



今までと何が変わるの？

【1週間の活動イメージ】

※ 土日はどちらか1日活動

	月	火	水	木	金	土	日
現在→	部活動	部活動	休	部活動	部活動	部活動	休
今後→	部活動	部活動	休	部活動	部活動	地域クラブ活動	休

まずは、**休日**から地域クラブ活動を目指します！



「学校部活動」と「地域クラブ活動」って何が違うの？

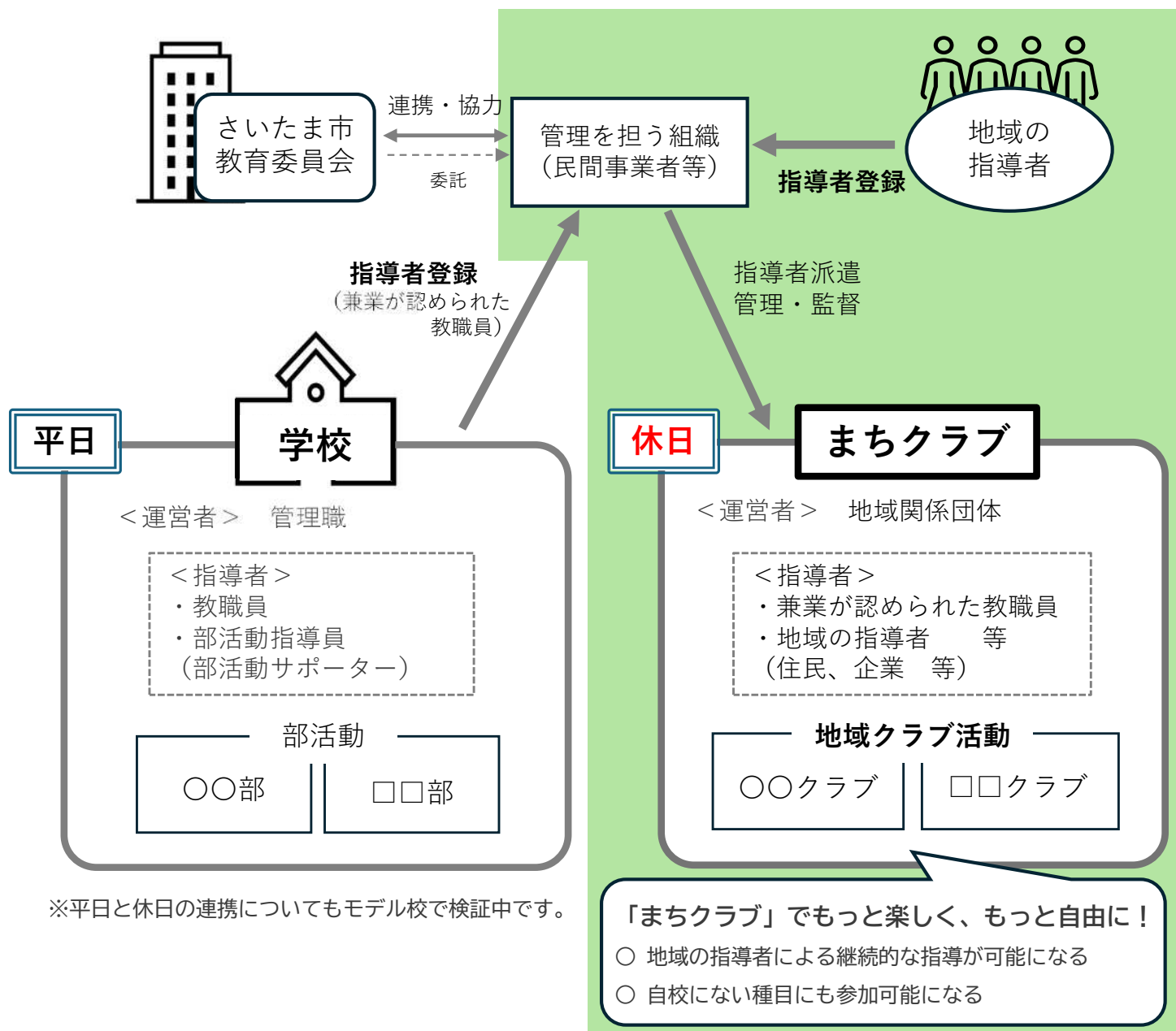
学校部活動		地域クラブ活動
学校	主体	地域
学校施設	場所	学校施設の利用が中心※
教職員、部活動指導員 (部活動サポーター)	指導者	兼業が認められた教職員 地域の指導者 等

※ 将来的には、多様な場所で活動することを想定



さいたま市の目指す「地域クラブ活動」のイメージ

さいたま市では、各学校の実態に応じて、学校に関わりのある地域関係団体の協力のもと「まちクラブ」を立ち上げ、「地域クラブ活動」を運営する仕組みを検討しています。



◎さいたま市のこれまでの取組

- R 7 研究協議会 (※) 実施
モデル校 8 校で実証検証
- R 6 研究協議会実施
モデル校 3 校で実証検証
- R 5 研究協議会設置、実施
モデル校 3 校で実証検証

取組内容は
コチラ
➡➡➡

モデル校での実証事業の概要を含めた協議会資料

令和 7 年度



令和 6 年度



令和 5 年度

第 1 回



第 2 回



※研究協議会：「さいたま市地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備研究協議会」を指す

★次回のリーフレットについては、令和 8 年 2 月頃に発行する予定です。

お問い合わせ さいたま市教育委員会事務局 学校教育部教育課程指導課 中学校教育係

TEL : 048-829-1661

FAX : 048-829-1990

Mail : kyoikukateishido@city.saitama.lg.jp